

桐生観光協会事務局のまちなか移転について （改訂継続）

桐生市の人口減少時代における地方創生の考え、方向性のなかに『観光振興による交流人口の拡大や観光産業化を図るため、重要伝統的建造物群保存地区をはじめとする本市の貴重な資源の活用に向けた取り組みを推進するとともに、交流・集客に向けた特色あるイベントを開催する。また、インバウンド対策も視野に入れながら、多角的な情報発信を行い、地域の活性化にもつなげる』とあります。

産業観光を切り口とした、まちづくりを強力に推進するには、桐生観光協会を核とした幅広い関係団体や機関、市民の結集が必要であり、観光協会を強化することがその実現に向けての第一歩となります。観光政策の充実が桐生市に恩恵をもたらすためにも、桐生観光協会の事務局をまちなかに移転して頂きますよう要望いたします。

【桐生市からの回答】

観光の産業化を促進する上で、民間の活力を最大限引き出すためにも、桐生観光協会の果たす役割は大きく、協会の体制強化、機能充実などは極めて必要なことであります。また、観光協会の事務局をまちなかに移転することも、まちなか観光の拠点作りの観点から重要な課題であると認識しております。

しかしながら、現在は本市が桐生観光協会事務局を担っており、市職員が同協会事務局業務を兼務していることから、観光協会事務局のまちなか移転に際しては、事務局設置場所の検討だけでなく、観光協会組織のあり方、事業内容の検討、さらには財源、人員の確保などについて総合的に検討する必要があり、観光協会として方向性を検討していくことが不可欠であります。

今後、観光協会での検討を踏まえ、行政としてどのような支援が可能か、商工会議所をはじめ関係者との協議を重ね、研究してまいりたいと考えております。

【回答担当】産業経済部観光交流課観光・物産係